

西日本豪雨災害支援活動のご報告

ボランティア受付窓口の支援を行いました。

・ボランティア団体受付と個別ボランティアの受付支援

⇒9月12日から13日にかけて、倉敷市の災害ボランティアセンターで、災害復興のために駆けつけたボランティアの受入作業を行いました。

受付は窓口で直接申し込む方法と、事前に Web 上で申込みを行う方法があり、毎日450人程のボランティアが、被災地支援のために駆けつけていました。



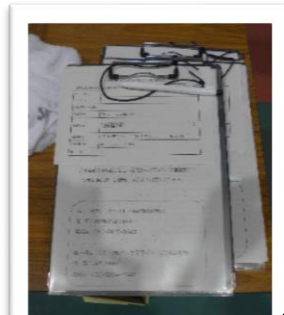
ボランティア受付の様子

・各種証明書の発行手続きの支援

⇒また活動を終えたボランティアに対して、ボランティア活動証明書の発行と、災害派遣従事車両証明書(高速道路の無料化申請書)の発行を行いました。これらの証明書の発行を行うことで、ボランティアの宿泊費の助成が受けられたり、高速道路の通行料金が無料になったりするため、多くのボランティアが申込みを行っていました。



ボランティア団体受付の様子



団体受付の用紙



各種証明書発行受付の様子

・2日間の支援を終えて

⇒支援活動に入ってみて、被災地では家屋の泥だしや、家具の運びだし等のニーズ解決が出来ていない地域が多く残っていることが分かりました。これは活動しているボランティアの数が8月に比べ3分の1程度の450人程に減少していることが原因の一つではないかと感じ、まだまだ多くのボランティアの力が必要と感じました。

・被災地の復興支援のお願い

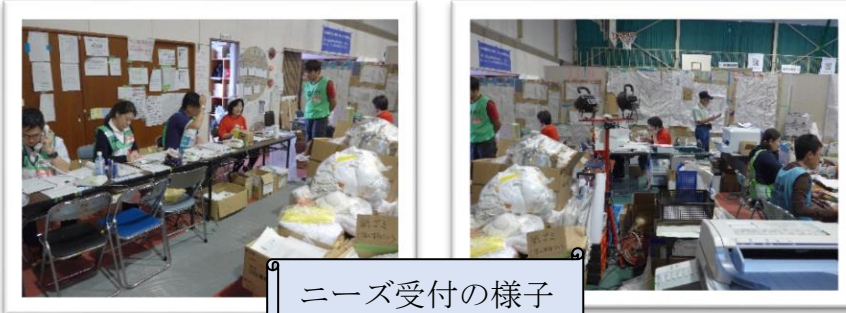
⇒倉敷市ボランティアセンターでは、引き続き災害ボランティアの受付を行っています。被災地の復興に皆様の力をお貸しください。倉敷市ボランティアセンターのホームページより、事前受付を行うことができます。

また活動前には必ず「ボランティア保険」に加入してください(聖蹟桜ヶ丘ヴィータ7階の多摩ボランティア・市民活動支援センター、二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ3階、7階にて受付中)。

その他の災害ボラセンの様子

- ニーズ受付班

⇒近畿地区の社協職員を中心にニーズ受付(被災住民の困りごと)が行われていました。



ニーズ受付の様子

- 送り出し班

⇒一定数のボランティアが集まったら、活動の諸注意を行い一気に送り出していました。



ボランティア送出しの様子

国士舘大学と多摩市災害復興支援 ボランティアの会の活動紹介

- 真備町でのボランティア活動

⇒サテライトにて活動場所の説明を受け活動をしました。主に住宅のゴミだしや清掃が中心でした。



災害ボランティア活動の様子